

平成30年度 行政評価表

担当課	伊奈町心身障害児通園施設
章名	第3章豊かな心を育むまちに暮らす
節名	第1節子ども・子育て支援の充実
施策名	2. 保育サービスの充実

施策の内容	目指す姿	多様な保育サービスの提供や子育て支援の充実により、安心して出産・子育てのできるまちになっています。
	現状と課題	安心して子供を産み育てられるよう、妊娠期や出産期、乳幼児期などにおける母子保健活動の充実を図る必要があります。全国的に家庭や地域の子育て力が低下し、育児に不安や悩みを抱く親が増加し、児童虐待などが問題になっています。また、共働き家庭の増加により保育所の入所希望者は増え、本町での保育所の園児はこの5年間で1.7倍になり、待機児童も増加傾向にあります。 子育て中の親たちを支援するため、本町では地域子育て支援センターや保育所を中心とした相談体制の整備を図るとともに多様化するニーズに対応した保育サービスの提供や、待機児童解消に向けた民間保育所の誘致などに取り組んできました。また、放課後児童クラブは需要が高まっており、一層の充実を図る必要があります。 国においては、子ども・子育て支援新制度が平成27年4月から始まりますが、本町でも新制度に沿った新たな子育て支援策を積極的に推進していく必要があります。

まちづくり目標値	指標名		現状(平成25年度)
	(1)		
	(2)		
	(3)		
	(4)		

目標値への推移		平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	目標(平成31年度)
	(1)					
	(2)					
	(3)					
	(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	7,232	7,016	0	0	0	7,016

今年度の 施策達成度	A	A	施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。（進捗率71～100％）
		B	施策の見直し、改善等の検討余地がある。（進捗率31～70％）
		C	施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。（進捗率0～30％）
施策達成度 の理由 （施策に対する 今年度の実績 及び効果）	・臨床心理士、言語聴覚士による児童の個別発達検査及び母親ミーティングを実施し療育の充実を図った。 ・作業療法士による指導を開始し、療育内容の充実を行った。 ・家庭への情報発信として、療育の参考資料や支援方法等を周知した。 ・通園施設職員が専門研修に参加し資質の向上を図りながら療育を実施できた。		

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	- 療育の必要な子どもが増え、低年齢化する傾向にある。 - 児童が一貫した支援を受けるため、他機関との連携を図り、障がいの特性に合った支援を提供する必要がある。
	住民ニーズの変化について	利用者側の求める支援が多岐に渡り、個々に合わせた支援が求められている。
	展開した事業は適切であったか	専門指導を行うことで、発達に応じた療育内容が充実し、家庭との連携も図れた。
	施策を達成するうえでの障害について	療育環境の充実のため、環境整備や人材確保が必要となる。

次年度以降における施策の具体的な方向性	- 療育内容の見直しとそれぞれの子どもに合わせた設定内容の検討を行う。 - 専門研修で学んだことを職員間で振り返り、共通理解を深めて療育を行っていく。 - 他施設との連携を取りながら療育の充実を図る。
---------------------	--

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	町のホームページを利用した施設内の情報発信を行っていく。
----------------------	--